富山市が進める富山駅周辺整備の事業計画について

□ … 富山駅周辺地区土地区画整理事業

令和3年1月時点

○事業主体：富山市　　面積：10.4ha　○事業期間：平成18年度～令和10年度　○事業費：145億円　○合算減歩率：22.65%（公共減歩率：11.74%）　○仮換地指定：平成22年5月

鉄道高架下の自由通路整備

新幹線及び在来線の高架下空間を利用して鉄道利用者以外の方でも通行できる自由通路の整備によって、富山駅周辺における歩行空間の確保と公共交通の乗換えの円滑化を図ります。

地平レベルでの歩行者通路であるため、南北市街地の行き来や富山駅での公共交通の乗換えがわかりやすく安全に行えるようになります。

床には富山の工芸ガラスブロックを埋め込んだフロアシャンデリアを設け、柱部分には、アルミや県産杉を用い富山ならではの空間を演出しています。

天候に左右されないイベント空間としても活用することで、歩行者の利便と賑わいを創出します。

①南北自由通路 済

延長：約75m　幅員：約25m
高さ：新幹線側約7.0m、在来線側約5.0m
路面電車南北接続事業の完成と併せ**2020年3月に全面供用済み**。

②東西自由通路 済

延長：約180m　幅員：約6.0m
2020年12月に全面供用済み。

富山駅周辺の街路整備

鉄道で分断されていた南北市街地を結ぶ街路を新設し、鉄道の高架化をいかした交通環境の改善を図ります。

富山駅周辺の交通渋滞が緩和されるとともに、歩行者・自転車の安全性と利便性の向上が実現されます。

⑤(都)富山駅南北線

延長：約250m　幅員：約23.0m
2021年10月の全線供用開始を目指しています。

⑥(都)富山駅横断東線

延長：約190m　幅員：約12.0m
整備の完了は、富山地方鉄道本線の高架化完了後を予定しています。

⑦(都)富山駅北口東線 済

延長：約80m　幅員：約7.5～11.0m
2020年6月に供用開始済み。

富山駅前広場等の整備

富山駅を中心とする約10.4haの区域で土地区画整理事業を実施し、南口及び北口駅前広場の再編や西口交通広場などの整備を行うことによって都市交通の利便性向上と土地の高度利用を図り拠点性の高い都心の形成を行います。

交通広場の再編整備では、バス、タクシーなどの公共交通は、南口、北口駅前広場へ、一般車は西口高架下の西口交通広場へと分離し、広場規模を15,560㎡から27,100㎡へ拡張することで、交通結節機能の強化とゆとりある歩行者空間を確保します。

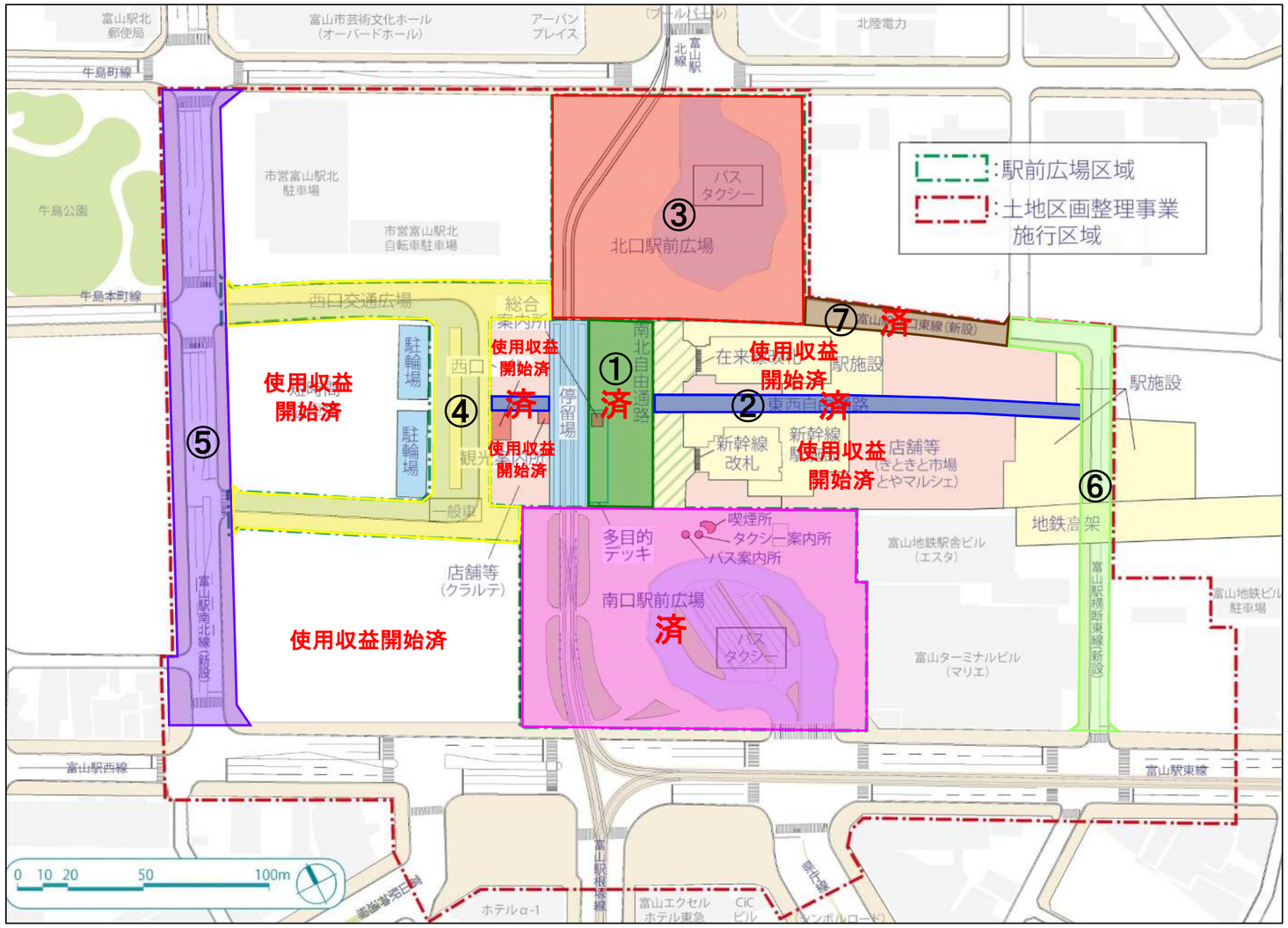
また、南口及び北口駅前広場と南北自由通路をイベント空間としても活用することで富山駅南北市街地一体となった賑わいの創出や歩行者利便の増進を図ります。

・富山駅南口駅前広場 済

[(都)県庁線]
面積：9,460㎡ → 12,000㎡
供用済み

③富山駅北口駅前広場

[(都)富山駅北線]
面積：6,100㎡ → 10,100㎡
2022年3月の供用開始を目指しています。

④富山駅西口交通広場

[(都)富山駅南北線]
面積：5,000㎡
2021年10月の全面供用開始を目指しています。